

事業費提案書(別紙様式4)

建設費		施設概要 (構造・規模・仕様等)	事業者としての事業費上限額(提案事業費)及びその実現のための取組に関する提案		更なる事業費削減に向けた工夫に関する提案※3	
項目			提案事業費内での事業実施を実現するための具体的取組※1 (設計の工夫、独自技術、施工合理化、調達等の工夫)	提案事業費※2 (単位:千円 税抜)		更なる事業費削減のための工夫※4 (設計の工夫、独自技術、施工合理化、 調達等の工夫)
I. 建設工事費	直接 工事費	1. 建築工事			縮減方策を最大限実 現した場合の事業費の 見込み※5 (単位:千円 税抜)	
		1.1 土工・地業 ※a	直接基礎構造	<ul style="list-style-type: none"> ・建物地下利用範囲を最小限とした計画(掘削土量と山留面積に関わる費用を削減) ・建設発生土の一部を造成へ利用(建設発生土処分費の削減) ・フィールド施工基面の土間コンクリート化(敷鉄板の削減と、底版形状の簡略化) ・既存杭残置による地耐力の確保(既存杭撤去費用、地盤改良費の削減) ・ペDESTリアンデッキにおける接地圧の小さい布基礎の採用(地盤改良数量削減) ・仕上・設備部材も含めた屋根部材のユニット化による先行取付(仮設吊足場削減) 		9,004,730
		1.2 構造躯体	(1)スタンド ・基礎:基礎梁+底版、 マットスラブ ・地上:鉄骨造、一部 SRC造、ブレース付き ラーメン構造、制振構 造(オイルダンパー) (2)ペDESTリアンデッ キ ・基礎:基礎梁+底 版、 マットスラブ ・地上:鉄骨造、ブレース 付ラーメン構造	<ul style="list-style-type: none"> ・部材断面、納まりの簡素化 ・基礎躯体断面の形状・寸法の均一化 ・同一断面を周方向に繰り返すシンプルな構造 ・基礎梁、屋根を支持するスタンド外周柱、段床受け梁、床ハーフPCa版、雑躯体など、部材のプレキャスト化(品質・施工性・コストを総合的に考慮した設計) ・段床PCaの二段一体化による取付ピース数の削減(品質・施工性・コストを総合的に考慮した設計) ・鉄筋トラス付きデッキの採用(労務費削減) ・代表企業独自の設計法による合成梁の横座屈補剛材の削減(数量削減) ・鉄骨梁材の一部電炉材の使用(単価削減) ・鉄骨柱における露出型固定柱脚工法の採用による基礎躯体工と鉄骨建て方工の切り分け(労務費削減) ・積載荷重の小さい範囲のピット内には基礎小梁を設けない設計(基礎PCaピース数削減) 		29,524,260
		1.3 屋根	・鉄骨造、鉄骨と木材 のハイブリッド構造 ・片持ち梁形式の三角 形断面トラス構造 ・カラーステンレスシー ト防水シーム溶接 工法	<ul style="list-style-type: none"> ・観客席の温熱環境と芝面への日射確保を両立させるため鋼板屋根とガラス屋根を効果的に配置 ・各通りでほぼ同一フレームを繰り返すシンプルな構造(設計図、製作図及び製作の簡略化、同部材使用によるコスト削減) ・全スパンでユニット化が可能となる屋根鉄骨の部材構成(建方手間削減、高所作業の削減) ・形態抵抗(中央部のむくりと両端部のリング効果)を利用した屋根架構の採用による鉄骨数量削減 ・屋根トラス部に構造集成材(カラマツ・スギ)を使用し鉄骨量を削減 ・屋根鉄骨用仮設支柱(ベント)の転用計画による仮設費用削減 		18,601,920
		1.4 外部内部仕上 ※b	・外壁:ECP版 + 塗装 ・軒庇:木製ルーバー (高耐久処理) ・観覧席:段床PC素地 ・コンコース(1階):上部 直天 ・VIPラウンジ:床、カー ペット、壁:木調パネル 天井:木調ルーバー	<ul style="list-style-type: none"> ・流通量の多い既製材を多用した経済設計 ・下部空間の特性を踏まえ乾式工法と湿式工法を適材配置したトイレ計画 ・仕上げ材料などへの規格品及び汎用品の積極的採用 ・種計画の合理化による継ぎ手の数量減と延長さ削減 ・階段寸法の統一化・階高の統一によるモジュール化(同じユニットの繰り返し) ・芝の維持に必要な土壌水分量を確保した上でエアレーションシステムを中止 ・コンコースの天井仕上を極力直天井仕上とした ・曲面の仕上を多角仕上にする事で費用削減 ・建具の納まりを簡素化することにより費用削減 		24,375,330
	1.5 その他 ※c	・観客席68000席 (指定場所への納品分 を含む) ・観客席オーバーレイ	<ul style="list-style-type: none"> ・観客席のグレードに応じた座席仕様 	2,109,620		
	2. 電気設備工事					
	2.1 電力設備	・電灯、動力、受変電、 電力貯蔵、発電設備	<ul style="list-style-type: none"> ・電源区分の適切な分割による資機材の削減 ・各階平面プラン上で同一箇所にシャフトを配置する事で配管・配線の削減 ・高圧受変電設備の分散配置による2次側配線の削減 ・規格品及び汎用品の積極的採用 ・照明人感センサー(代表幹事会社独自技術:T-Zone Saver)の採用 	11,528,980		
	2.2 通信情報設備	・構内情報通信網、構 内交換情報表示、 映像設備、音響設 備、インターホン、 テレビ共同受信、 駐車場管制	<ul style="list-style-type: none"> ・通信情報設備区分の適切な分割による資機材の削減 ・各階、同じ位置に配置したシャフト計画による配管・配線の削減 ・各弱電設備ラックの統合化による資材の削減 	6,117,330		

建設費		事業者としての事業費上限額(提案事業費)及びその実現のための取組に関する提案		更なる事業費縮減に向けた工夫に関する提案※3	
項目		施設概要 (構造・規模・仕様等)		更なる事業費縮減のための工夫※4 (設計の工夫、独自技術、施工合理化、調達等の工夫)	
		提案事業費内での事業実施を実現するための具体的取組※1 (設計の工夫、独自技術、施工合理化、調達等の工夫)		縮減方策を最大限実現した場合の事業費の見込み※5 (単位:千円 税抜)	
I. 建設工事費	3. 機械設備工事				
	種目	3.1 空気調和設備	・空気調和、換気、中央監視	・LCCを考慮した電気・ガス複合熱源システムの採用 ・中央式空調エリアの適切なゾーニング計画による資機材の縮減 ・分散空調エリアに個別空調方式を採用することで資材の縮減 ・施工性を考慮したピット内設備配管ルートの確保 ・ダンボールダクトの採用による断熱工事の縮減	5,120,640
		3.2 給排水衛生設備	・給水、給湯、衛生器具、排水再利用、雨水利用、消火、ガス	・インフラ状況を考慮した適切な機械室の配置計画による資材の縮減 ・中央給湯方式と局所給湯方式の適切なゾーニング計画による資材の縮減 ・施工性を考慮したピット内設備配管ルートの確保 ・ピット内各種水槽の適切な配置計画による資機材の縮減 ・雑用水を生成する目的とした雨水再利用設備の採用	5,949,870
		4. 昇降機設備工事	・エレベーター ・屋外用エレベーター ・エスカレーター	・採用機種の一統化	963,020
	種目	5. 外構工事			
		5.1 建築工事	・植栽工事(移植含む) ・外構仕上げ工事	・幅広く流通している樹種の選定	2,966,090
		5.2 電気設備工事	・外灯設備	・規格品及び汎用品の積極的採用 ・BCP支援のためのハイブリッドソーラー外灯を部分的に採用	252,280
		5.3 機械設備工事	・屋外配管等	・敷地高低差を利用した排水放流計画 ・灌水や防災井戸を目的とした井水利用設備の採用	169,550
		6. その他工事 ※f	・歩行者デッキ ・道路線形変更 他		3,305,170
	直接工事費 計				119,988,790
		共通仮設費	・準備費、機械器具、下水道料金 他	・クレーン等重機と仮設材の最適配置による費用の縮減 ・リチャージ jewels の採用による下水道排水量の縮減	7,281,240
		その他共通費	・現場管理費 ・一般管理費		10,539,270
	共通費 計				17,820,510
	建設工事費 計				137,809,300
	(m ² 単価)		法定延面積: 192,363.00 m ²		(716)
II. 電波障害対策費、各種負担金等				153,600	
建設費合計 (I ~ II) (税抜)				137,962,900	
建設費合計 (I ~ II) (税込)			消費税率:8%	148,999,932	

設計・監理等費		事業者としての事業費上限額(提案事業費)及びその実現のための取組に関する提案		更なる事業費縮減に向けた工夫に関する提案※3	
項目	施設概要 (構造・規模・仕様等)	提案事業費内での事業実施を実現するための具体的取組※1 (設計の工夫、独自技術、施工合理化、調達等の工夫)	提案事業費※2 (単位:千円 税抜)	更なる事業費縮減のための工夫※4 (設計の工夫、独自技術、施工合理化、 調達等の工夫)	縮減方策を最大限実現した場合の事業費の見込み※5 (単位:千円 税抜)
Ⅲ. 設計業務費(基本設計、実施設計) ※d	<ul style="list-style-type: none"> 通常の設計業務 追加業務(標準外) (透視図作成、風洞実験模型、モックアップ 他) 指定追加業務 (シミュレーション:7種類、風洞実験模型、コスト縮減報告、他) 行政手続き 積算業務 	<ul style="list-style-type: none"> フロントローディング型のスケジュール管理 階高の統一、シンメトリーな平面構成、同一断面での全体構成といったシンプルな施設計画により設計業務を合理化 旧計画での都市計画的、指導事項、合意事項の継承、活用によって行政協議期間を短縮する想定とし、手続き業務期間を縮減 スタジアム実績を活かした基本設計作業 	1,945,738		
	<ul style="list-style-type: none"> 各種調査 		1,000		
Ⅳ. 工事施工等業務費(施工技術検討) ※e	<ul style="list-style-type: none"> 施工計画検討書 	<ul style="list-style-type: none"> 設計・施工一体事業のメリットを活かした専門工事会社の早期参画による施工上、製作上の知見の設計活用 	360,000		
Ⅴ. 設計業務費(設計意図伝達)	<ul style="list-style-type: none"> 施工図確認 色彩計画 設計疑義 ユニバーサルデザインWS 設計変更 変更関連の行政手続 	<ul style="list-style-type: none"> 階高の統一、シンメトリーな平面構成、同一断面での全体構成といったシンプルな施設計画による施工図確認業務の合理化 	545,645		
Ⅵ. 工事監理業務費	<ul style="list-style-type: none"> 現場監理業務 ユニバーサルデザインWS 設計変更対応 環境影響評価への協力 	<ul style="list-style-type: none"> 施工準備段階から経験、知見を設計に反映し、工事監理業務を先行実施 工事着手前から施工者と重要管理ポイントを共有し進捗管理を実施 	838,217		
設計・監理等費合計(Ⅲ～Ⅵ)(税抜)			3,690,600		
設計・監理等費合計(Ⅲ～Ⅵ)(税込)		消費税率:8%	3,985,848		

注意事項

- ※1:「提案事業費内での事業実施を実現するための具体的取組」欄には、各項目について必ず記載すること。また本事業において原則として実施することを記載すること
- ※2:提案事業費について、建設費、設計・監理等費の各合計額は工事契約の条件とし、提案事業費の建設費及び設計・監理費の各合計欄は、発注者の提示するそれぞれの事業費上限額を下回ること。
- ※3:「更なる事業費縮減に向けた工夫に関する提案」は、事業費のより一層の縮減や事業費抑制の確実性向上を目的として提案を求めるものであり、与条件が不確かであること等により提案時点において、実施することが確実でないものも含めて提案してもよい。
- ※4:「更なる事業費縮減のための工夫」欄には、各項目について該当するものを記載すること。
- ※5:「縮減方策が最大限実現した場合の事業費の見込み」には、「提案事業費内での事業実施を実現するための具体的取組」と「更なる事業費縮減のための工夫」が全て実施された場合の事業費の見込み額を記載する。
- ※a:土工・地業には、直接仮設を含むこと。
- ※b:外部内部仕上には、建具工事を含むこと。
- ※c:その他には、座席等の既製ユニット類を計上するとともに、上記の各項目に見込むことが困難な項目を計上すること。
- ※d:調査がある場合は調査費と設計費を分けて計上すること。
- ※e:施工技術検討業務費に計上する費用と、設計業務費や建設工事費との二重計上は行わないこと。(原則として、施工技術検討業務として実施する検討内容については、設計業務または建設工事で重複して行わない。)
- ※その他必要に応じて、欄を追加すること。(複数ページに渡ってもよい)